

RYOBI

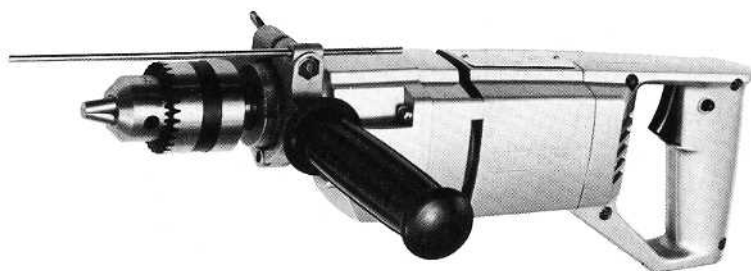
震動ドリル

PD-140・190

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6980909



●特長

- 強力モーターと回転+打撃機構によりコンクリート、タイル、石材等への穴あけがスピーディにでき、回転使用に切換えることにより電気ドリルとして金属、木材、プラスチック等の穴あけ、と広い用途にご使用いただけます。
- 軽量、コンパクトな設計で使い易く、長時間作業でも疲れを感じさせません。
- 注油の必要がなく、メンテナンスの手間がかりません。
- 作業姿勢に合わせて補助ハンドルの角度を変えられる為安定した作業ができ

●仕様

		PD-140	PD-190
電 源		単相 交流 100V	
電 流		6 A	
消費電力		570W	
無負荷回転数		1,250R. P. M.	1,100R. P. M.
震 動 数		18,750回/分	16,500回/分
穴あけ 能 力	コンクリート	14mm	19mm
	鉄 工	13mm	13mm
	木 工	24mm	30mm
全 長		376mm	
重 量		3 kg	

ます。

- 収納及び持ち運びに便利なチャックホルスター付コードホルダーを採用しています。

● 用途

- コンクリート、タイル、石材等の穴あけ。(回転+打撃)
- 金属、木材、プラスチック等の穴あけ。(回転のみ)

● 通常付属品

補助ハンドル、ストッパー、
チャックハンドル、スチールケース、
コンクリートビット $\varnothing 6.5 \times 100$

● 特別付属品(別販売)

(PD-140・PD-190)

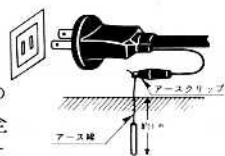
- コンクリートビット
 $\varnothing 5 \times 85$ 、 $\varnothing 6.5 \times 100$ 、 $\varnothing 7.5 \times 125$ 、
 $\varnothing 8.5 \times 125$ 、 $\varnothing 11 \times 150$ 、 $\varnothing 14 \times 170$
(PD-190)
- コンクリートビット
 $\varnothing 14.3 \times 170$ 、 $\varnothing 17.5 \times 170$ 、
 $\varnothing 19 \times 170$
- 回転用コアビット
 $\varnothing 55 \times 100$ 、 $\varnothing 65 \times 100$ 、 $\varnothing 70 \times 100$
- 振動用コアビット
 $\varnothing 29 \times 100$ 、 $\varnothing 55 \times 100$ 、 $\varnothing 65 \times 100$

● ご使用に当たりますの注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

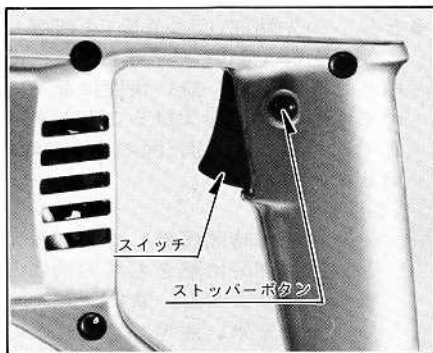
- 壁や床などに穴あけをする場合は、電気の配線がしてあるかどうかを確認して下さい。電気の配線がしてある場合は、感電の恐れがあり危険です。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつけたりした場合は異状の有無を確認した後ご使用下さい。
- 運転中は刃物及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻きこまれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴等をはいて下さい。
- 本機はお子様の手が届かない所に保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたるところは避けて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。

- さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確認し、使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。
ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
- 刃物は使用説明に従い、完全に取付けた状態でご使用下さい。不完全な取付けで運転しますと刃物が抜けたり折損する場合があります非常危険です。
- スイッチを入れる前には、本体をしっかり保持し、モーターの回転による反力で振り回されないようにして下さい。
- 感電事故を防止する為、ご使用に先だちコード端にあるアースクリップを接地して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売店営業所にお問い合わせ下さい。



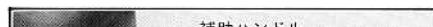
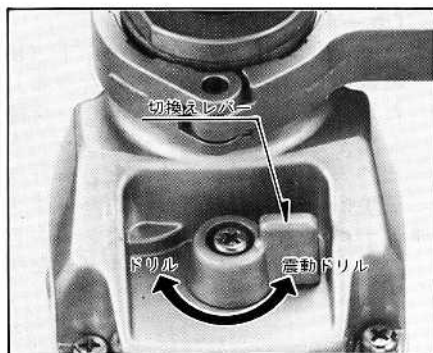
● スイッチ

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。またスイッチを引いた状態で握り部側面にあるストッパーボタンを押すとスイッチから指を離してもスイッチは入ったままになります。
この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンがはずれスイッチは切れます。連続使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。



● ドリル、震動ドリルの切換え

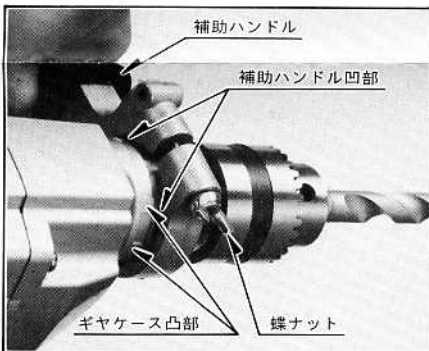
- 電気ドリル、震動ドリルの切換えはギヤケース下部の切換えレバーで簡単に切換えることができます。
- コンクリート、タイル、石材等に穴あけをする場合は切換えレバーを、(H)位置に合せます。回転+打撃の震動ドリルとしてご使用いただけます。
- 金属、木材、プラスチック等に穴あけをする場合は切換えレバーを(D)位置に合せます。回転のみの電気ドリルとしてご使用いただけます。



リルとしてご使用いただけます。

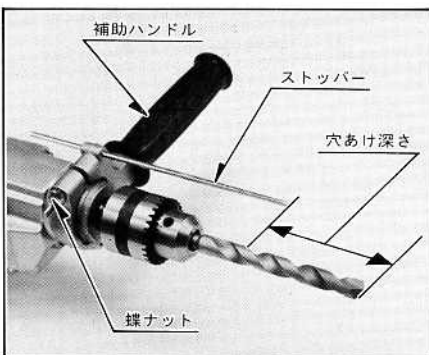
●補助ハンドル

- 補助ハンドルはギヤケース先端の凸部(7ヶ所)と補助ハンドル凹部(8ヶ所)を合せ、蝶ナットを締めつけて固定します。ギヤケースと補助ハンドルの凸凹部を入れかえることにより、45°ずつ角度を変えることができます。作業姿勢に合った位置に補助ハンドルを調節してご使用下さい。



●ストッパー

- 一定の深さの穴をあける場合はストッパーをご利用下さい。
- ストッパーは蝶ナットをゆるめ穴の深さは合せて調節し、蝶ナットを締付けて固定します。



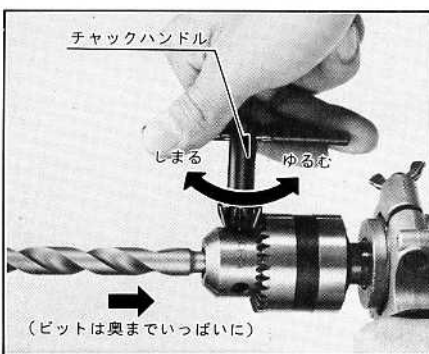
●ドリルビットの取付け

- ドリルビットの取付けはチャックの奥に必ず当るように入れ、チャックの締付けは3ヶ所が均等になるように締付けて下さい。

チャックの奥にドリルビットが当たっていませんと使用中、ドリルチャックがゆるみ、ドリルチャックやドリルビットに傷をつけることがあります。

(注)コンクリート穴あけ中、ビットの先を油、水等で急冷することは絶対に避けて下さい。

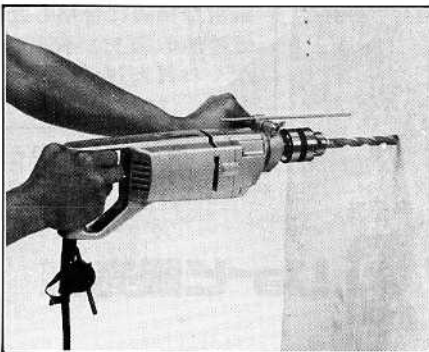
(切れ味が悪くなる為)



●用途とキリの選び方

(コンクリート・石材・タイル等)

- コンクリートビットを使用して下さい。表面の滑り易いタイル、大理石等は切換えレバーを(D)位置に切換えて位置決めを行なった後、(H)位置に切換えて穴あけを行なって下さい。



(金属・プラスチック等)

- 鉄工キリを使用して下さい。切換えレバーは(D)位置に合せてご使用下さい。
- ボンチ等で穴あけ位置を押し作業しますと、ずれることなくきれいな穴あけができます。

(木材)

- 木工キリを使用して下さい。(小径の穴は鉄工キリを使用) 切換えレバーは(D)位置に合せてご使用下さい。

● 保守と点検

(刃先の研磨)

- ビットの刃先が摩耗しますと、穴あけ能力に影響しますので、切れ味が悪くなりましたら刃先の研磨をして下さい。
- ビットの先端部(図のA面)を研磨し、内側面を軽く面取りして下さい。面取りをしないで、鋭い角度になっていますとチップが欠けることがあります。刃物の外周面(図のB面)は研磨しないで下さい。

(ご注意)

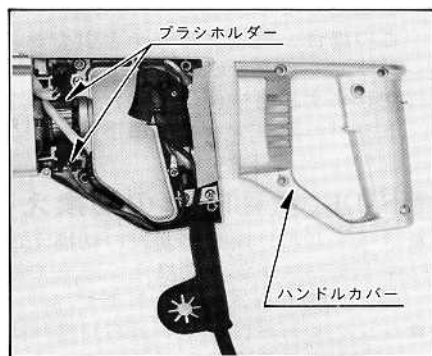
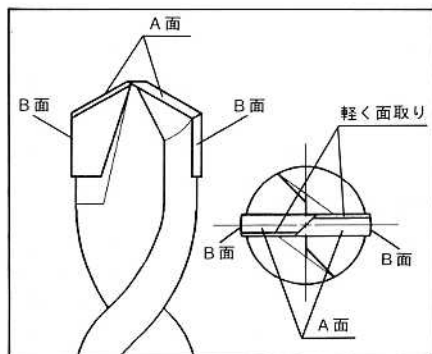
一ヶ所を長時間研磨しておきますと、その部分に熱をもち刃物に好ましくありません。また、熱をもった刃物を水、油等で急冷しないで下さい。

(カーボンブラシ)

- カーボンブラシが全長の $\frac{1}{3}$ 以下(横に線の入っている部分)になりましたら、新しいカーボンブラシと交換して下さい。短いカーボンブラシをそのまま使っておりますと、モーター焼損の原因になることがあります。
- カーボンブラシの交換はハンドルカバーを取外し、ブラシホルダーを引出して行なって下さい。

(ご注意)

- コンクリートビットは、穴あけ作業中刃先が加熱されますが、そのまま使用できます。熱くなった刃先を水や油で急冷することは絶対に避けて下さい。ビットの寿命を低下させます。
- つき抜け穴をあける場合の抜きぎわや、大口径の穴あけでは振りまわされる事があります。穴の抜きぎわでは、ビットを押す力をゆるめ本機をしっかりと保持して下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元



リョービ販売 株式
会社



リョービ 株式
会社